

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	東医診断実技		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	5階実技室
担 当 教 員	花原 容成	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1年次の東洋医学を基礎とした診断実技。舌診、腹診、問診、脈診を重点的に行う。 各診断法を的確に行い、弁証論治に結び付けられるようにする。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『新版 東洋医学概論』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)						
《授業外における学習方法》						
予習:講義予定部分の教科書の確認。 復習:講義箇所に関する教科書の熟読。 共通:自身・家族・友人等身近な人たちに実際に四診を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
1年生で学んだ東医基礎理論・東医治療学の知識をベースにした実技です。弁証論治に繋がる情報を身体から得ることが出来る大切な実技です。診断が出来なければ治療は出来ません。しっかり技術の習得を目指して頑張りましょう。普段から「手の感覚」を鍛え「治療者の手」を作っていくように心がけていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	四診について口頭で説明できる。	教科書	シラバスの確認。講義予定部分の教科書の確認。	
		各コマにおける授業予定	四診の概要			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	顔面診のポイントをまとめ、鍼灸実技で病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。自身・家族・友人等に顔面診の実践。	
		各コマにおける授業予定	望診①(顔面診)			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	部分診のポイントをまとめ、鍼灸実技で病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。自身・家族・友人等に部分診の実践。	
		各コマにおける授業予定	望診②(部分診)			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	舌診の舌質のポイントをまとめ、鍼灸実技で病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。自身・家族・友人等に舌診の実践。	
		各コマにおける授業予定	望診③(舌診:舌質)			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	舌診の舌苔のポイントをまとめ、鍼灸実技で病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。自身・家族・友人等に舌診の実践。	
		各コマにおける授業予定	望診④(舌診:舌苔)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	腹診のポイントをまとめ、鍼灸実技で病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。家族・友人等に腹診の実践。
		各コマにおける授業予定	切診①(腹診:難経系)		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	腹診のポイントをまとめ、鍼灸実技で病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。家族・友人等に腹診の実践。
		各コマにおける授業予定	切診②(腹診:傷寒論系)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	経穴診のポイントをまとめ、鍼灸実技で病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。家族・友人等に経穴診の実践。
		各コマにおける授業予定	切診③(経穴診)		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	背候診のポイントをまとめ、鍼灸実技で病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。家族・友人等に背候診の実践。
		各コマにおける授業予定	切診④(背候診)		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	脈状診のポイントをまとめ、鍼灸実技で病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。自身・家族・友人等に脈診の実践。
		各コマにおける授業予定	切診③(脈状診)		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	脈差診のポイントをまとめ、鍼灸実技で病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。自身・家族・友人等に脈診の実践。
		各コマにおける授業予定	切診④(脈差診)		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	問診の流れ、基本事項を聴取し、病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。家族・友人等に問診の実践。
		各コマにおける授業予定	問診①(流れ、基本的問診事項)		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	問診のその他事項を聴取し、病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。家族・友人等に問診の実践。
		各コマにおける授業予定	問診②(その他の問診事項)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	四診合参を行い、病態把握できるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。家族・友人等に四診の実践。
		各コマにおける授業予定	総合診断(望診・聞診・問診・切診)		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	四診合参を行い、弁証論治につなげることができるようにする。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。家族・友人等に四診の実践。
		各コマにおける授業予定	総括		